

Yufuin Hospital

Recruitment guidance



独立行政法人地域医療機能推進機構

湯布院病院

湯布院病院の理念

地域で人々が幸せに暮らしていくために、リハビリテーションを核とした地域医療を推進します。

湯布院病院の基本方針

1. 患者さん・利用者さんとその家族のために
患者さん・利用者さんおよびその家族を中心に考えます。
2. 職員の幸せのために
やりがいを感じて仕事に取り組んでいける職場をつくれます。
3. 地域のために
地域に根ざし、地域に感謝され、地域に真に必要とされる病院を目指します。

病院の概要

病床数：199床

(一般病棟51床 地域包括ケア病棟60床
回復期リハビリテーション病棟88床)

診療科目：内科・整形外科・循環器内科・神経内科
リハビリテーション科・心療内科・眼科



看護部の理念

その人らしさを専門的に支える信頼される看護

知識と技術に裏付けされた看護実践と深い人間関係に基づいた質の高い看護サービスを提供し、患者さんのその人にしか生きることのできない固有の人生を支えます。

看護部の基本方針

1. 患者さんの生命と人間としての尊厳および権利を尊重します。
2. チーム医療において、看護の専門性を発揮できるように臨床実践能力の向上に努めます。
3. 地域・在宅ケアにおける専門職連携を深め、患者さんの自立を支援します。
4. 専門職としての知識・技術・人間力（配慮・気配り）を総合的に持つ人材育成を行います。

勤務体制

変則二交替制

日勤 08：30～17：15（休憩1時間）

夜勤 17：00～09：30（休憩2時間）

その他、時差出勤、早出、遅出あり

休日

【休日】4週8休制、国民の休日、年末年始 休日

【休暇】年次休暇

特別休暇（夏季休暇3日、結婚休暇5日、産前産後休暇、
配偶者の出産休暇、介護休暇、忌引き、災害被災時等）

寮

病院から徒歩2分

寮費：8,700円/月（寮4,200円 駐車場代3,000円 共益費1,500円込み）

温泉・駐車場あり



新人教育

多職種が講師となり、集合研修と各部署でのOJTを行っています。
個人でも集合研修でも学習できるe-ラーニングを取り入れています。

4月

- 標準予防策
- 看護記録
- 電子カルテの操作方法
- MRI検査の介助
- 認知症看護
- 口腔ケア
- 排泄ケア
- 糖尿病・インスリン注射
- 血糖検査 など



5月

- 各種医療機器の取り扱い
- 救急蘇生法
- 静脈血採血
- 静脈注射

6月

- 清潔操作
- 薬剤の管理
- 与薬



7月

- 輸血療法
- 医療機器の洗浄・消毒・滅菌
- 膀胱留置カテーテルの挿入

9月

- 入退院支援
- 整形外科看護
- 回復期リハビリテーション看護

10月

- 手術室研修

3月

- 1年間の振り返り



プリセプターシップ



プリセプティ



プリセプター

新人看護師1人ひとりに プリセプターがつき、看護技術や精神面のサポートを行っています。



プリセプティ

出身校：別府医療センター附属大分中央看護学校 所属部署：地域包括ケア病棟

指導していただいたことを忘れないようにメモをとったり、メモを見て頭の中で復習したりしています。先輩方の指導のおかげで日々できることが増えていくことに喜びを感じています。研修では、先輩たちの失敗経験を交えて指導していただくことで、自分自身も気を付けるきっかけになったと思いました。集合研修は同期と会う機会でもあるので、休憩時には時間を忘れて話しています。

プリセプター

出身校：日本赤十字九州国際看護大学 所属部署：地域包括ケア病棟

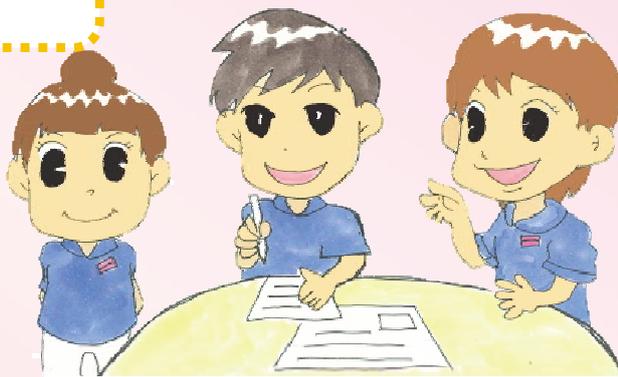
プリセプターになるのは初めてで、最初は新人教育をすることに自信がなく、自分が指導する立場になるイメージが付きませんでした。しかし、指導方法などに関して先輩看護師からアドバイスをもらったり、新人さんと一緒に自分も成長していくことを心がけて関わるようにしました。指導に関して悩むこともありますが、自分が新人の頃を思い出して、声掛けや精神面のサポートを行うことを心がけています。また、新人とのかかわりを通して、自分自身の看護技術や知識の向上にもつながっていると実感しています。

1年間一緒に学んで一緒に成長していくよ

プリセプター



プリセプティ



2年目からのキャリアアップ

当院ではクリニカルラダーを採用しています。
クリニカルラダーとは、看護師に必要な態度・知識と看護技術をいくつかの段階に分け、スキルアップを目指す教育システムです。

湯布院病院クリニカルラダーの目標

レベルⅠ

- ・指導のもとで安全な看護ができる。
- ・組織の一員であることを自覚し、施設を利用するすべての人、協働するすべての仲間に丁寧な対応ができる。

レベルⅡ

- ・地域における自施設の機能を理解できる。

レベルⅢ

地域医療および地域包括ケアのチームの一員として、患者および家族、地域の人々の生活上のニーズに応えるために積極的に問題解決に参画できる。

レベルⅣ

患者および家族の地域における生活上のニーズを把握し、医療のニーズと統合したケアを提供するためにリーダーシップが発揮できる。

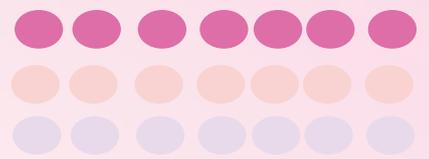
レベルⅤ

- ・地域関連施設と連携を図り、ケアを継続できる。
- ・患者および家族の地域における生活上のニーズを把握し、医療者のニーズと統合したケアを提供する実践モデルとして行動できる。

どんどん
ステップアップして
いくよ～



先輩ナースにインタビュー！



ママさん
ナース

出身校：大分東明高等学校
衛生看護科
所属部署：回復期リハビリテ-
ーション病棟



中途採用
ナース

出身校：活水女子大学
所属部署：一般病棟

Q：今はどんな働き方をしていますか？

A：現在は病棟のサポートを受けながら時間短縮勤務を行っています。私は中堅看護師研修を受講し中堅看護師としての自身の役割について学んだことを病棟で活かせるよう奮闘しています。職場で新人・学生に対しての指導を通して相互成長の自覚を持ち、看護の本質を重視した指導を実践していくことが私の課題でもあります。

Q：子育てと仕事をどう両立していますか？

A：家庭との両立は決して楽なことばかりではないですが、私はとても楽しく行えています。私は職場で夫と出会い結婚しました。湯布院病院はリハビリに力を入れているため、多職種との連携も多いです。同職種はもちろん、多他職種だからこそお互いの大変さを理解しあえるというのがメリットだと思います。

Q：湯布院病院を選んだ理由は？

A：私は大学を卒業後東京の病院に就職し、急性期の看護を学んできました。急性期看護以外に、退院支援や在宅看護にも、もともと興味がありました。昨年地元の湯布院に帰ってきて、看護師として働きたいと考えた時に、湯布院病院で働くスタッフから話を聞く機会がありました。自分もこの病院で働き、今まで得てきた知識・技術などを活かしていきたいと考え、入職しました。

Q：湯布院病院のいい所を教えてください

A：多職種が連携し、チーム医療を展開しているところ、患者一人ひとりの生活背景を理解し、寄り添った看護ができるところ、温泉があるところ、大好きな由布岳が見えるところです。

認定看護師

当院には2分野2名(感染管理・脳卒中リハビリテーション看護)の認定看護師がいます。

感染管理認定看護師



シンプルズベストな感染対策をテーマに日々感染管理活動に取り組んでいます。感染症はコロナだけではなく、平時の感染対策を充実させることで、多くの感染症から患者さんだけでなく、働く私たち自身を守ることが出来ます。安心して治療を受ける、働くことが出来る環境を目指して努めて行きたいと思います。



脳卒中リハビリテーション看護認定看護師



脳卒中の発症により機能障害を抱えた患者さんに対し、多職種で協働して日常生活動作の自立、生活の再構築に向けて支援を行っています。院内では、高次脳機能障害やリハ看護等のテーマで研修会を開催しています。また、病態や障害部位を踏まえた上で、疾患管理や生活指導も実践・指導しています。今後も、患者さんが自分らしく生きがいのある生活を再構築できるよう家族も含めて支援し、その生活を継続できるよう再発予防にも努めていきたいと思っています。





病棟看護師の1日

一般病棟の日勤の様子

8:30 始業

担当患者の情報収集を行います。
日勤リーダーとも情報を共有。

9:30

手術を受ける患者の入室準備を行います。
優先順位を考えながら、その日担当する患者のケアも行っていきます。

10:00

手術室看護師へ申し送りを行います。
安全に手術を受けられるよう、正確な情報を伝えます。

11:00

血糖測定・インスリン確認
経管栄養の準備・実施

12:00

休憩



菅原さん 3年目看護師

所属部署：一般病棟

出身校：熊本保健科学大学

Q：湯布院病院を選んだ理由は？

A：手術後のリハビリから退院までの一連の流れを学ぶことができるからです。高齢化が進む中、地域医療を学んでみたいという思いもあったので、湯布院病院を選びました。

Q：勤務中に気を付けていることは？

A：患者の動きや言葉1つ1つに、意味があると思って見て聞くことです。ニーズや思いを聞いて、ケアにつなげるよう気を付けています。

Q：やりがいを感じる時は？

A：手術後の患者がしっかり歩いている姿を見た時や「あの時はありがとう」と言っていたただいた時ですね。安全に確実にケアできたかなと思い、やりがいを感じます。

Q：休日の過ごし方は？

A：ドライブ 写真撮影



病棟看護師の1日

一般病棟の日勤の様子



13:00

術後患者のバイタルサイン測定やケアを行います。



15:00

オムツ交換
術後患者の観察

16:00

担当患者や手術患者の状態を
日勤リーダー・夜勤看護師に申し送ります。



16:00

電子カルテに患者の状態を記録します。



17:15 退勤



1週間の勤務の例

月 日勤 8:30~12:00

火 遅出 12:15~21:00

水 準夜 16:00~0:00

木 夜勤 0:00~9:30

金 休み

土 休み

日 早出 7:30

夜勤の翌日は
しっかり休んで
リフレッシュ!



一般病棟

地域包括ケア病棟

訪問看護
ステーション



各部署でメンズナースも活躍しています

これから看護師になるみなさんへ

一般病棟

整形外科と内科の混合病棟です。整形外科疾患の手術を受ける方や内科全般の疾患を抱える方など、さまざまな患者さんを対象としています。急性期病棟としてさまざまな看護技術を習得することができ、看護師として学びの多い病棟です。



若いスタッフや子育て世代が多く、明るく元気な病棟です。良いコミュニケーションを図りながらお互いに協力して、安心・安全な医療を提供できるように頑張っています。

地域包括ケア病棟

急性期治療を終え在宅生活に不安のある患者さんや、在宅療養中に体調不良が生じた患者さんを受け入れ、治療やケアを行っています。白内障手術の一泊入院の方の受け入れも行っています。住み慣れた自宅や地域で安心して暮らしていけるように、多職種で支援しています。



手術室



手術室では、整形外科と眼科の手術を行っています。整形外科では、脊椎手術、人工関節置換術、骨接合術、関節鏡手術など幅広い術式の手術を行っています。眼科では白内障手術を行っています。手術室看護師は、患者さんに安心して手術を受けていただけるように術前から術後まで関わっています。

私たちの職場を紹介します。

回復期リハビリテーション病棟

急性期の治療を終えた患者さんに対し、身体機能の回復や日常生活に必要な動作の向上に向けて集中的にリハビリテーションを行う病棟です。その中で私たち看護師は「病気だからできなくなった」ではなく、「病気でもできることがある」という思いで日常生活支援を行い、患者さんとそのご家族の意思を尊重した目標を設定し、チームで関わっています。



各部署が連携して患者さんの入院から退院後の生活まで支援しているよ。



リハビリ用プール室もあります。



訪問看護ステーション



訪問看護ステーションは、在宅生活を支援するサービスを行っています。対象者のご自宅に伺い、体調管理・内服管理・点滴・看取り・家族支援・リハビリテーションを行っています。湯布院町や近隣の町まで、雨にもまけず風にもまけず、24時間体制で支援しています。

奨学金制度について

応募資格

看護学校（大学・短期大学・専門学校・看護師養成高等学校に在学中で、将来湯布院病院で看護師として業務に従事しようとする方

貸与金額

月額1～5万円で選択できます（無利子）

貸与期間

通学する看護学校の所定就業期間が終了するまで

返済免除

看護学校卒業後、湯布院病院で貸与期間相当の期間勤務をすると、奨学金の返済が全額免除されます

奨学金についてのお問い合わせ先

JCHO湯布院病院 看護部または総務企画課
TEL 0977-84-3171（平日 9:00～17:00）

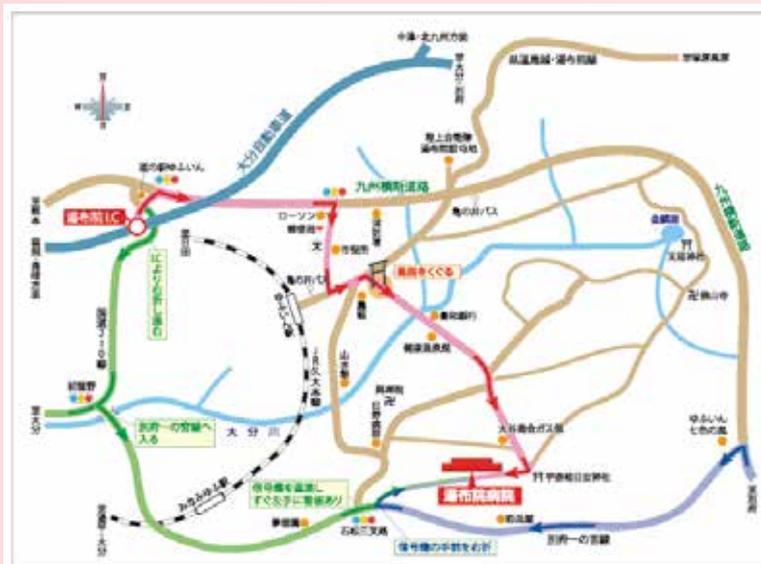
自然と温泉が豊かな
湯布院で
皆さんを待っています。



リハビリテーション室



温泉湧き水が流れている病院地下1階の浴室



独立行政法人 地域医療機能推進機構



湯布院病院

〒879-5193

大分県由布市湯布院町川南252
（代表）

TEL0977-84-3171

FAX0977-84-3969

<https://yufuin.jcho.go.jp>

